

# Yamakado News Letter



横木やプラ杭を背負子で運搬



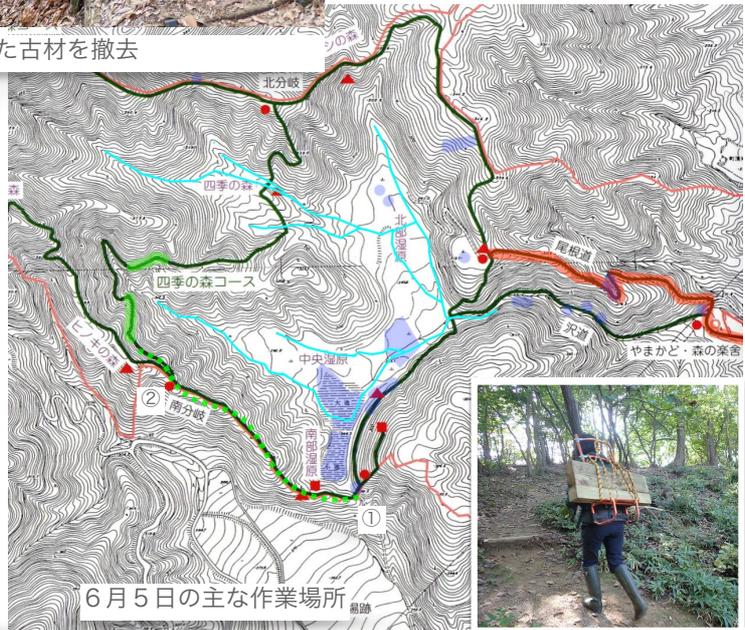
腐朽した古材を撤去



進入路補修 Photo:IKEDA



新しい横木を敷設



6月5日の主な作業場所

横木運搬 20/10/29

## 6月の保全活動は 四季の森コースの 階段改修など

6月5日は保全作業日（第一土曜日）でしたが、湖北工業からの3名を含め、20名の参加がありました。4班に分かれ、四季の森コースの階段改修、ハチトラップの管理、尾根道排水路整備、進入路の補修、給水柵の掃除、ササ防獣ネットの管理などの作業を実施しました。

階段用の資材は昨年秋に敷地南側の牧場跡から、車両で地図の①まで運び上げ、そこからはポチポチと歩荷で②の南分岐まで運んでいました。5日の作業では②まで運んだ資材と、運び切れなかった資材を①から修繕する現場（地図黄緑の実線の場所）まで運んで、順次傷んだ階段を交換していきま

した。5日の作業で四季の森コースの約1/3の改修ができました。残りも順次作業を行う予定です。また地図赤実線の場所で排水路掃除、進入路路面整備などを行いました。

## 連絡協議会開催

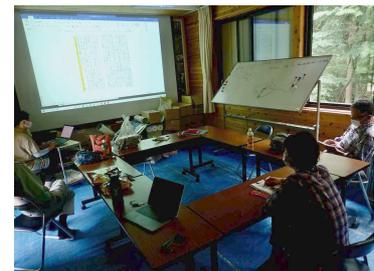
6月9日、滋賀県、長浜市、山門自治会と老人会、上の荘生産森林組合と引き継ぐ会とで組織する「山門水源の森連絡協議会」を開催。20年度の事業報告と決算、21年度の事業計画と予算が了承されました。

## 20年史編集会議

昨年冬より行っている20年史の編集会議ですが、ようやく原稿が揃い、全体としてのまとめ作業の段階になってきました。



連絡協議会開催 6/9



20年史編集会議 6/12

# 今年のササユリ 北部湿原のネットは 壊滅状態

昨年、北部湿原のネット内のササユリが食害に遭いました。シカの侵入があったわけではないので、犯人はネットを潜れるネズミなどの小動物ではと疑っています。球根が大方やられてしまったようで、北部湿原のネットの中で開花したササユリは7株のみとなりました。

特定の植物が集中して生育していると、その植物を利用する生き物は決して沢山の餌にありつけます。ですから、一旦狙われると被害が大きくなります。しかし、これだけの数を食べてしまうとは！この10年はシカ獣害を何とか食い止めるという思いで、防獣対策を行ってきました。しかしながら、シカとの一対一の関係で物事を考えていると、思わぬところから反応があるものだと、改めて思い知らされました。再び北部湿原のネットでササユリが咲き乱れるようになるのは、7年後以降になりそうです。



北部湿原のネット内 19/06/15



今年のほぼ同じ場所 21/06/11



牧場進入路傍のネットは例年通り

## 次の世代、別の生き物へと リレーされる命

今年も湿原内の湿地や水路を覆う樹上に、沢山のモリアオガエルの卵塊が付きました。南部湿原では、一本の木に30個以上の卵塊が付いたものもありました。

モリアオガエルが産卵に集まると、シマヘビやアカハライモリ、イシガメなども集まり、それらはカエルを襲い、枝から落ちた卵塊を狙います。モリアオガエルにとっては死と隣り合わせの作業です。しかし、葉っぱの上で休む姿には、そうした深刻さは感じられません。

カエルの卵塊を食べたイシガメは、苦勞して産んだ卵をシマヘビに狙われ、シマヘビも猛禽類に狙われる命です。自然の中に身をおくと、生命観は生命環であることが、改めて身に染みて感じさせられます。



モリアオガエルの産卵 6/3



落ちた卵塊を食べるイシガメ 6/4



一本の木に30個以上の卵塊 6/22



産卵の穴を掘るイシガメ 6/25



産卵中のモリアオを狙うシマヘビ 6/14



シマヘビの隣で余裕の昼寝 6/14



イシガメの卵を食すシマヘビ 6/27